

明宝特産物加工(株)

郡上市・食品製造

従業員数／男性52名 女性27名 計79名 ※令和4年11月現在

エクセレント
POINT

- ①部署の垣根を取り払ったコミュニケーションの創出
- ②新工場竣工による生産性と品質の向上
- ③食育の普及と雇用の活性化で地域振興に貢献



生産部門に携わる和田仁美さんは「新工場は設備が整い余裕をもって仕事に取り組むことができるようにになった」と笑顔を見せる。

明宝特産物加工では、風通しの良い職場づくりを目指して、部署ごとの縦割りの意識を解消し、年6回の部署長会議や意見交換会、経営方針を共有する研修など従業員同士の交流の場を増やした。2020年8月からは社内報「Mplus」の発行を開始し、会社の業務連絡だけでなく、従業員の家庭生活や趣味などを掲載することで、従業員同士の理解が深まり、お互いの家庭環境を尊重し合う風土が醸成された。

18年に竣工した新工場の設計にも従業員の意見が取り入れられた。搬入から出荷までの動線を一本化して作業効率を上げ、一度に多品種の製造が行えるよう設備を拡充。旧工場に比べ生産性や品質が格段に向上した。

会社の考え方、そして従業員一人ひとりの考えを共有できる場の確立と技術面の進歩が、食感が柔らかな新商品の明宝ハム「ソフト」や冷蔵ワインナーの開発につながるなど、具体的な実績を生み出している。

また元々第3セクターとして設立した経緯から、地元小学生に向けた出前授業の開催や、ジビエを使った商品開発への技術協力など



地元の小学校で開かれたハムづくり教室の様子。従業員自ら講師となり、子どもたちを対象にした食育活動を行っている。

アイデアを出しやすい環境で働きがいを高める

明宝特産物加工では、風通しの良い職場づくりを目指して、部署ごとの縦割りの意識を解消し、年6回の部署長会議や意見交換会、経営方針を共有する研修など従業員同士の交流の場を増やした。

また部署の垣根を越え、広くメンバーを募つて新商品開発チームを設立。キャリアや知識は問わず、やる気があれば加入できる。トップダウン式では埋もれがちだった現場の声を掘り起こし、良いアイデアを積極的に拾い上げる環境を整えた。

また部署の垣根を越え、広くメンバーを募つて新商品開発チームを設立。キャリアや知識は問わず、やる気があれば加入できる。トップダウン式では埋もれがちだった現場の声を掘り起こし、良いアイデアを積極的に拾い上げる環境を整えた。